

特集 暮らしを支える水

～きれいで安全・安心な水ができるまで～

人が生きていくために「水」は必要不可欠です。日本では蛇口をひねればきれいで安全・安心な水を利用できますが、水道水をそのまま飲める国は決して多くはありません。私たちの水を守るため、*中空知広域水道企業団では日々厳重に検査を行っており、いつでも安心して利用できる水を提供しています。

今回の市議会だよりでは、水が家庭に届くまでの仕組みについて特集します。

*滝川市・砂川市・歌志内市・奈井江町で構成



スタート ①



①取水塔

空知川から原水を取水します。



②沈砂池棟

原水中に含まれているごみ等を除去し、臭気がある場合は活性炭を注入して臭気を除去します。



⑤浄水池棟

ポンプで送る水を貯水します。



④池棟

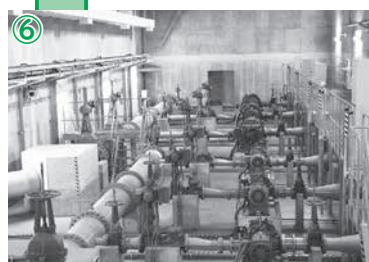
*フロックを沈でんさせ、沈でん処理水を砂・砂利層でろ過し、ろ過処理水に次亜塩素酸ナトリウムなどを注入して浄水をつくります。



③薬品注入棟

*フロックとして固める薬品などを混ぜ合わせます。

*砂粒同士の固まり



⑥送水ポンプ棟

ポンプを使って構成自治体の各配水池に送水します。



各配水池



ゴール

どうやって施設を管理してるの？



〈中央管理室〉

きれいで安全な飲み水をつくるために、機械の運転や薬品の量を正確にコントロールしています。

また、何か起こった際、迅速に対応できるよう職員が24時間365日常駐しています。



水の検査はどうしてるの？

水質検査室



水を調べて薬品の種類や入れる量を決めたり、浄水場でつくられた水道水を検査しています。

中空知広域水道企業団では、薬品注入棟、池棟、浄水池棟などの各工程で水質等を検査しています。



機械や職員の手によって厳重に検査が行われています！

水道水は安全なんだね！！



注意

お気をつけください！！

ポイ捨てや不法投棄されたゴミが、用水路や排水路に流れると、やがて川に流れ込み、水質が汚染されてしまいます。

水質が汚染されると私たちの生活に必要な水に影響があるほか、自然環境の保全にも悪影響が出る可能性があります。

ルールを守り、大切な「水」を守りましょう。

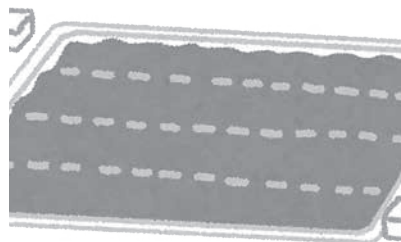


みずの基礎知識！！

滝川市で1日に使われる水の量は

プール約22杯分

(平均10,474トン)



※25m×16m×1.2mのプールを基準

水道水について聞いてみた！！

Q：水道水から塩素臭(カルキ臭)がするのはなぜですか。

A：空知川の水に含まれた細菌を滅菌するために使用している水道用薬品、次亜塩素酸ナトリウムの臭いが原因です。

水道水は、水道法で定められた家庭の蛇口から出る水の遊離残留塩素の濃度0.1mg/L以上を確保するために毎日試験を実施して注入量を決定しています。

夏季には特に臭いを強く感じますが、川の水の富栄養化により発生する細菌の増加や、高温により配管内での塩素消費が高まることを考慮して、冬季と比較して浄水場から送り出す水の塩素濃度を高く設定していることが原因として考えられます。

Q：水道水をよりおいしく飲む方法はありますか。

A：個人差はありますが美味しいと言われる水温は10℃から15℃と言われていています。

冷蔵庫で冷やしてから飲むのもおすすめです。



▲藤田編集副委員長による中空知広域水道企業団へのインタビュー

中空知広域水道企業団議会をご存じですか？

中空知広域水道企業団を構成する市や町の議会の代表が集まり、企業団の運営や予算などについて話し合う会議のことです。本市からは、5名の議員が代表として出席しています。



※3/1に開催された令和6年中空知広域水道企業団定例会

水道企業団からのメッセージ

「安全・安心な水」をお届けするために日々業務を進めています。人口減少などによる収益の減少や労務・薬品単価の上昇、水道管をはじめとした老朽化施設・設備の増加に伴う更新・改修費用の増大など、水道企業団として経営効率化や収益確保にさらなる努力をしていかなければならない状況にあります。

これからも利用者の皆さまへ「安全・安心な水」を提供し続けていくため、水道事業に携わる職員が一丸となって健全な水道事業を運営していくよう努めていきます。